

令和元年度第1回
江差町総合戦略検証委員会
可視化(見える化)資料

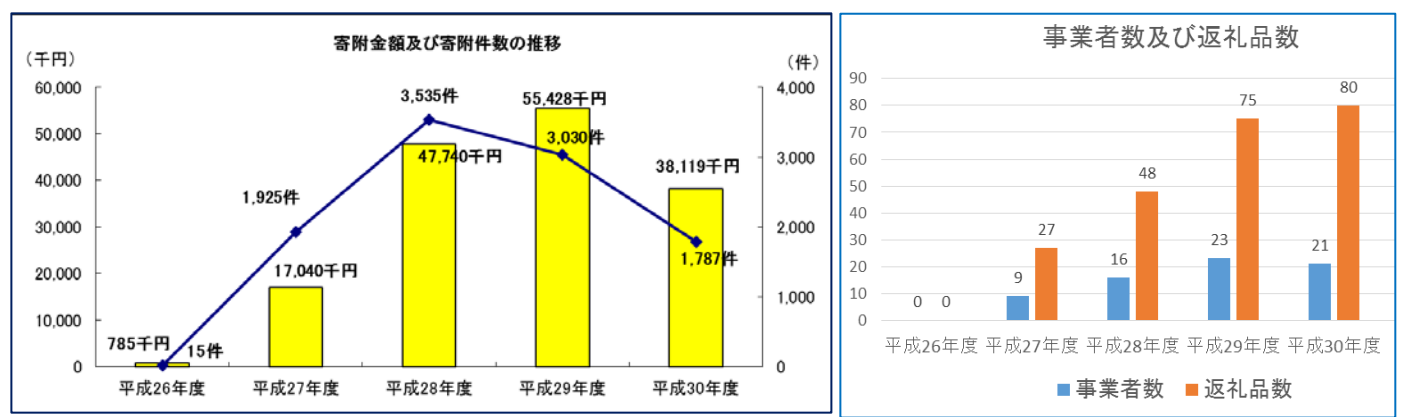
令和元年10月
江差町

江差町ふるさと応援寄附金の概要（ふるさと納税）

「小さな町の大きな挑戦」～つながる「キズナ」・こたえる「オモイ」～

平成27年度より、特典付制度（お礼品）による運用を開始し、全国の多くの皆さまよりご寄附をいただきました。これからも、「小さな町の大きな挑戦」～つながる「キズナ」・こたえる「オモイ」～と銘打ち、ふるさと納税を通じた、町の活性化を図っていきます。

寄附金額及び寄附件数・事業者数及び返礼品数の推移



平成30年度ふるさと応援寄附金活用事業

【単位：千円】		
事業名	決算額	ふるさと応援寄附金充当
1 歴史・文化・観光の振興に資する事業	46,520	40,700
① えさしマリンフェスタ開催	611	582
② 無形民俗文化財保存伝承対策	212	200
③ 日本遺産地域活性化推進事業	7,578	2,000
④ 開陽丸青少年センター補助	22,551	22,500
⑤ 江差観光コンベンション協会運営補助	4,500	4,500
⑥ 観光振興事務（かもめ島まつり花火大会実行委員会補助）	1,618	1,618
⑦ 江差追分会運営補助	9,450	9,300
2 子供たちの未来を育む事業	5,878	4,250
① 「子育て応援券」交付事業	3,592	2,000
② インフルエンザ予防接種支援（13歳未満）	750	750
③ 中体連出場補助	1,536	1,500
3 町民の地域活動を支援する事業	6,577	6,500
① まちづくり推進交付金	6,577	6,500
4 その他まちづくりの推進に寄与する事業	54,518	39,370
① 看護師等育成確保対策	2,400	2,200
② 農業経営基盤安定対策	4,003	4,000
③ 産地生産力強化総合支援	6,898	3,000
④ 漁業経営基盤安定対策	6,544	6,500
⑤ 江差港マリーナ浮桟橋整備	10,206	4,600
⑥ アワビ栽培漁業推進	2,325	2,320
⑦ ナマコ栽培漁業推進	1,300	1,300
⑧ ひやま地域ニシン復興対策	1,224	1,200
⑨ がんばる商店街等応援補助	1,500	1,500
⑩ 中心市街地活性化対策	600	600
⑪ ぶらっと江差運営補助	8,160	3,150
⑫ 町内会等管理街灯助成（電気料金助成）	4,198	4,100
⑬ 町内会等管理街灯助成（LED化改修及び修繕助成）	5,160	4,900
合計	113,493	90,820

※寄附金充当額については、ふるさと応援寄附金基金（毎年度の総寄附金額を同額積立）の中から取り崩し各種事業へ充当しているものです。 2ページ



地区別の受領件数及び金額

地区	件数	比率	順位	地区	金額	比率
関東	861	48.2	1位	関東	17,786,000	46.7
関西	351	19.6	2位	北海道	8,725,000	22.9
中部	218	12.2	3位	関西	5,142,000	13.5
北海道	163	9.1	4位	中部	3,166,000	8.3
九州・沖縄	87	4.9	5位	九州・沖縄	1,431,000	3.8
東北	44	2.5	6位	東北	923,000	2.4
中国	44	2.5	7位	中国	540,000	1.4
四国	19	1.1	8位	四国	406,000	1.1
合計	1,787	100.0	順位	合計	38,119,000	100.0

平成30年度寄附件数ベスト5

事業者名	お礼品名	寄附件数	寄附単価	寄附金額
えさし水土里の会	北の大地の恵み味くらべA 頭から食べるアスパラガス2kg	362	15,000	5,430,000
若山水産	江差ブランド「幻のガサエビ」500g	209	10,000	2,090,000
北前水産	極上の味 江差産紅ずわいがに ポーション500g	200	10,000	2,000,000
北前水産	極上の味 江差産紅ずわいがにの脚2kg	172	20,000	3,440,000
笹浪精肉店	老舗お肉屋さん「マルミ」の自家製「焼き豚！」	96	5,000	480,000



平成30年度寄附金額ベスト5

事業者名	お礼品名	寄附金額	寄附単価	寄附件数
江差 旅庭群来	ペア宿泊券(1泊2食付)お土産付※11月より寄附額変更	11,175,000	150,000 275,000	58 9
えさし水土里の会	北の大地の恵み味くらべA 頭から食べるアスパラガス2kg	5,430,000	15,000	362
江差 旅庭群来	ペア宿泊券(1泊2食付)タクシー送迎付※11月より寄附額変更	3,504,000	200,000 376,000	10 4
北前水産	極上の味江差産紅ずわいがにポーション500g※6月より新規登録	3,440,000	20,000	172
江差 旅庭群来	1名様宿泊券(1泊2食付)お土産付※11月より寄附額変更	2,096,000	100,000 174,000	14 4

※評価が高かった声

- ・品物の香りや味に対して、美味しかった等の声を頂いた。
- ・町長さんの手書きのお礼文からは心が伝わってきて、江差町を応援したくなりました。
- ・江差町という地域に興味がわき、いつかいけると良いと思った。

※評価が低かった声

- ・品物の量や質、香りや味に対して、不満の声を頂いた。
(A商品に対して、届くのを楽しみにしていたが、届いた商品にがっかりした。)
(B商品に対して、説明文にあるような大きさや味ではなかった。)

江差町まちづくり推進交付金の概要について

当町では、平成28年度より「江差町まち・ひと・しごと総合戦略」の実施に伴い、まちづくりの観点から、対応する必要のある重点課題や懸案事項、更には地域の活性化に資する各種の取り組みに対し、予算の範囲内において交付金を交付しています。

活用実績

(単位:千円)

事業名/年度	H28		H29		H30	
ソフト系	件数	金額	件数	金額	件数	金額
若者交流促進事業	1	1,998	1	700		
美しい村活動推進事業	3	1,537	2	1,040	3	1,471
空き店舗等活用促進事業	1	200	2	860	2	800
地域ブランド開発等支援事業	4	2,017	6	1,644	3	1,136
一般事業	5	1,026			2	180
小計	14	6,778	11	4,244	10	3,587
ハード系	件数	金額	件数	金額	件数	金額
宿泊施設整備促進事業						
産業基盤強化施設整備促進事業						
空き店舗等再生促進事業	1	3,000	1	2,310	1	2,990
小計	1	3,000	1	2,310	1	2,990
計	15	9,778	12	6,554	11	6,577

活用事例①：空き店舗等再生促進事業



[after]

【事業年度】平成30年度
【申請者】オフィスKAZUMI
【交付対象事業費】5,994,000円
【交付決定額】2,990,000円(1/2以内)



[before]

【事業の効果】

姥神町にある遊休不動産を活用し、新たにコミュニティカフェを創業。

地域のコミュニティスペースを確保したことで、様々な世代が多様なチャンネルを用いて交流、地域の元気づくりの発信に大きく寄与している。

また、江差追分道場として活用することにより、世代を問わず地域の宝である「江差追分」の普及・伝承につながっている。

更には、町内の空き店舗を有効に活用したことで、北の江の島構想の入り口として相応しい環境を整えることができた。

活用事例②：地域ブランド開発等支援事業



【事業年度】平成29年度 【申請者】(株)北前水産
 【交付対象事業費】371,520円
 【交付決定額】247,000円 (2/3以内)

【事業の効果】

「江差産すわいがに」は、これまで、主に加工用として出荷していたほか、町内では、漁師の直売所での販売や宿泊施設、飲食店で提供されていた。

パッケージを作成するで、「江差産」のPRと、町の特産品としてブランド化、販路拡大、ふるさと納税返礼品として充実を図ることができ、地域活性化に繋がった。



【イチゴマスカルーネ】

【事業年度】平成30年度 【申請者】(有)グリーンネット恵
 【交付対象事業費】729,991円
 【交付決定額】486,000円 (2/3以内)

【事業の効果】

江差産いちごを活用した新商品開発により、江差町の新たな土産品や特産品、ふるさと納税お礼品として充実が図られ「江差産いちご」の高付加価値化、販路拡大、地域活性化、地域PRにつながった。



【事業年度】平成30年度 【申請者】えさし水土里の会
 【交付対象事業費】620,568円
 【交付決定額】412,000円 (2/3以内)

【事業の効果】

ふるさと納税返礼品送付用として、これまでの市販されているカートンを利用していたが、材質が弱いため送付時等、品質確保に課題があった。

今回、江差産アスパラガスとして独自のデザイン・パッケージと、併せて丈夫なカートンを制作したことにより品質確保と、町のPR及び農業の活性化に繋がった。

活用事例③：一般事業



【事業年度】平成30年度
 【申請者】江差いにしえバル街実行委員会
 【交付対象事業費】241,090円
 【交付決定額】120,000円 (1/2以内)

【事業の効果】

函館西部地区で始まった飲み歩きイベント「バル街」はこれまで全国各地で行われ、手軽に賑わいを喚起できるとともに、地域の良さを再発見できる機会であり、地域活性化の一手法として定着している。

今回、江差いにしえ街道で実施したことにより、町内の方々ははじめ、町外からのお客さんを迎えることで、江差の魅力の再発見と、賑わいづくりに貢献した。

2018 ひやま食・観光フェア「檜山管内7町と東京都特別区との連携事業」

●事業目的

ひやまブランドの定着に向けて、首都圏域への浸透を図る。

会場では、特産品の販売を通して檜山地域のPRに努めるとともに、来場者へのアンケート調査を行い、檜山地域の認知度や観光ニーズ等について把握する。

●開催年月日	平成31年2月9日（土）、10日（日）
●開催会場	東急プラザ蒲田（7階イベントスペース）及び蒲田駅西口駅前広場
●来場者数	延3,300人（参考：H29年度 3,400人・H28年度 3,000人）
●購入客数	延 936人（参考：H29年度 984人）
●売上金額	301万円（参考：H29年度 307万円・H28年度 219万円）

販売金額実績（上位30品目）

2月9日（土）		
順位	町名	商品名
1	上ノ国町	煮タコ
2	乙部町	するめ塩辛
3	厚沢部町	贅沢とまとのジュース
4	乙部町	おとべのはちみつ
5	厚沢部町	アスパラ
6	上ノ国町	ごっこ
7	奥尻町	粒うに
8	今金町	いまかね男爵いも
9	奥尻町	OKUSHIRI ビノグリ
10	乙部町	酢イカ
11	今金町	今金地酒「今金」
12	厚沢部町	干しいも
13	奥尻町	OKUSHIRI メルロ-白
14	厚沢部町	メクイン
15	厚沢部町	黒豆
16	奥尻町	つぶ柔らか煮
17	せたな町	フランク
18	厚沢部町	乾燥きくらげ
19	せたな町	日本酒「よし子」
20	せたな町	日本酒「よし子(原酒)」
21	乙部町	男糍(開きホッケ)
22	今金町	トマトジュースプレミアム*
23	厚沢部町	蝦夷まいたけ
24	今金町	今金地酒「彗星」
25	上ノ国町	ほっけ開き
26	上ノ国町	ほっけ開き M
27	江差町●	五勝手屋羊羹(丸)
28	上ノ国町	かたこもち
29	上ノ国町	寒のり
30	上ノ国町	ガミゴンどら焼き

2月10日（日）	
町名	商品名
乙部町	するめ塩辛
厚沢部町	アスパラ
上ノ国町	寒のり
上ノ国町	ごっこ
厚沢部町	干しいも
上ノ国町	ほっけ開き M
奥尻町	粒うに
今金町	今金地酒「今金」
上ノ国町	煮タコ
今金町	いまかね男爵いも
奥尻町	OKUSHIRI シャルトネ
今金町	マフィン
厚沢部町	乾燥きくらげ
奥尻町	煮つぶ
今金町	今金地酒「彗星」
乙部町	のしするめ
奥尻町	いか刺しプレミアム
奥尻町	つぶの塩辛
厚沢部町	乾燥まいたけ
乙部町	男糍ホッケ
奥尻町	OKUSHIRI ビノワール
奥尻町	OKUSHIRI メルロ-白
江差町●	江差ラーメン(塩・醤油)
厚沢部町	黒豆甘納豆
江差町●	五勝手屋羊羹(ミニ)
乙部町	しおとんこつラーメン
奥尻町	たこ刺し
せたな町	日本酒「吟子物語」
せたな町	飲むヨーグルト フレーン
厚沢部町	蝦夷まいたけ



販売数量実績（上位 30 品目）

2 月 9 日(土)		
順位	町名	商品名
1	厚沢部町	メークイン
2	厚沢部町	黒豆
3	厚沢部町	アスパラ
4	上ノ国町	煮タコ
5	乙部町	するめ塩辛
6	江差町●	だいこん漬物
7	上ノ国町	カミゴンドラ焼き
8	江差町●	五勝手屋羊羹(丸)
9	厚沢部町	蝦夷まいたけ
10	乙部町	ゆり最中
11	奥尻町	つぶ柔らか煮
12	厚沢部町	干しいも
13	せたな町	飲むヨーグルト プレーン
14	厚沢部町	大粒納豆
15	今金町	マフィン
16	厚沢部町	ふっくりんこ
17	上ノ国町	かたこもち
18	乙部町	おとべのはちみつ
19	乙部町	百合根のハイ
20	今金町	いまかね男爵いも
21	上ノ国町	ほっけ開き M
22	奥尻町	粒うに
23	江差町●	江差ラーメン(塩・醤油)
24	乙部町	幻の黒千石大豆も
25	せたな町	飲むヨーグルト ストロベリー
26	せたな町	飲むヨーグルト ブルーベリー
27	厚沢部町	割り干し大根
28	今金町	キャロットケーキみな
29	せたな町	黒豆スナック
30	せたな町	モッツアレラチーズ

2 月 10 日(日)	
町名	商品名
厚沢部町	アスパラ
乙部町	するめ塩辛
せたな町	飲むヨーグルト プレーン
今金町	マフィン
厚沢部町	干しいも
江差町●	江差ラーメン(塩・醤油)
厚沢部町	メークイン
せたな町	黒豆スナック
上ノ国町	ほっけ開き M
厚沢部町	蝦夷まいたけ
厚沢部町	黒豆甘納豆
上ノ国町	煮タコ
厚沢部町	ふっくりんこ
今金町	キャロットケーキみな
奥尻町	つぶの塩辛
厚沢部町	贅沢とまとのジュース
今金町	いまかね男爵いも
上ノ国町	カミゴンドラ焼き
奥尻町	行者ニンニク松前漬
乙部町	おとべのはちみつ
乙部町	しおとんこつラーメン
江差町●	フリ醤油漬
せたな町	ホークマンハンバーガー
上ノ国町	ごっこ
今金町	しそジュース
奥尻町	煮つぶ
奥尻町	粒うに
江差町●	いか飯
乙部町	ゆり最中
上ノ国町	寒のり

●PR冊子の作成

- ・事業主体 檜山振興局・各町
- ・作成年度 令和元年 8月
- ・作成部数 10,000部
- ・作成規格 B5版 2つ折り 20ページ
- ・配布場所 渡島、檜山の道の駅及び観光案内所、全国バリアフリースターセンター JR函館駅、JR新函館北斗駅、JR五稜郭駅、JR八雲駅、JR長万部駅

ひやまバリアフリーレジャーガイド



北海道檜山振興局

ひやま イベントカレンダー

中旬	上ノ国	上ノ国八幡宮渡御祭	武士の格好をしたおかし行列が繰り歩く。
9・10日	せたな	事比羅神社例大祭	各町内が色とりどりに飾りつけた山車を出陣。
14・15日	せたな	真駒内神社例大祭	五穀豊穡を祈る盛大な祭り、太鼓合戦が見もの。
19～21日	今金	今金（横濱）例大祭・いまかな秋祭り	太鼓合戦が迫力高品。
第3金・土・日	江差	江差地分全国大会	日本一歴史ある民謡全国大会。
秋分の日	乙部	緑桂森林フェスティバル	自然のなかでジンギスカンやゲーム。
下旬	江差	江差町産業まつり	新鮮な海産物や土産物が集合。
第1日曜	上ノ国	産業まつり	地元の農家や漁師から自働の食材が大量。
10月上旬～中旬	せたな	道南新そばまつり	素人そば打ち道南選手権や、各種新そばを味わえる。
10月上旬～中旬	せたな	食と産業まつり	せたなの美りの秋を楽しくお祭り。

秋 9月～11月

11月上旬～2月上旬	上ノ国	かみのくに食遊祭	海の幸、山の幸を味わう食の祭典。
1月中旬	乙部	しづなふれあい雷岡	スキー教室やゲーム、そばの提供もあります。
1～28日	江差	江差たば屋の祭典	寒さを吹き飛ばすイベントが目白押し。
2月上旬～3月中旬	江差	江差・北前ひな語り	要らしいお雛様が江差の町を彩る。
第1土・日	江差	冬江差「美田彩」なべまつり	約30種類以上の鍋を味わう。
下旬	今金	ピリカふれあい歩くスキー大会	ピリカ選抜を会場に歩くスキーを満喫。

冬 12月～3月

お問い合わせ 詳細情報につきましては直接お問い合わせください。

- 江差観光コンベンション協会
TEL:0139-52-4815 FAX:0139-52-5666
- 上ノ国町観光協会
TEL:0139-55-3955 FAX:0139-55-3994
- 厚沢部町観光協会
TEL:0139-64-3738 FAX:0139-56-1020
- 乙部町観光協会
TEL:0139-62-2920 FAX:0139-62-3565
- 奥尻島観光協会
TEL:01397-2-3456 FAX:01397-2-3450
- 今金町観光協会
TEL:0137-82-3601 FAX:0137-82-3601
- せたな観光協会
TEL:0137-84-6205 FAX:0137-83-8020

北海道檜山振興局保健環境部社会福祉課
〒043-8558 北海道檜山郡江差町南屋町336-3
TEL: 0139-52-6651
FAX: 0139-52-3010
http://www.hiyama.pref.hokkaido.lg.jp/hk/syf/index.htm



2019年8月発行

各エリアのおすすめスポット 江差



江差観光
コンベンション
協会

主要観光施設
(開陽丸、追分会館・
山車会館、旧中村家住宅)
に介助スタッフを
配置しています。

① 江差追分会館・ 江差山車会館



江差追分会館
江差追分の戦いを
堪能できる伝習
演習室や本場の師匠が江差追分を
わかりやすく手ほどきしてくれる
追分道場がおすすめです。



江差山車会館
北海道最古の祭「姥神大神宮渡
御祭」の山車を展示。
床面もフラットで車いすの移動も安
心です。

住所：江差町字中取町193-3
電話：0139-52-0920（4月・10月 無休）
開館時間：9時00分～16時30分
休館日：冬季（11月～3月）
毎週月曜日・祝日の翌日
年末年始（12月31日～1月5日）



② 開陽丸記念館

江差沖で沈没した幕末の重艦「開陽丸」
を長さ約73mの実物大で復元した
記念館です。艦の歴史や海底から引き
揚げられた遺物の展示のほか、大砲発射
や帆船操作の疑似体験、引き上げた
遺物の保存処理など体験メニューも
充実しています。また1階への階段には
昇降機が設置されています（甲板に
上るには階段のみ）。

住所：江差町姥神町11-10 電話：0139-52-5522
開館時間：通年（4月～10月 無休） 開館時間：9:00～17:00
休館日：冬季（11月～3月） 毎週月曜日・祝日の翌日
年末年始（12月31日～1月5日）



③ いにしえ街道

歴史的建造物や史跡、旧跡など、歴史
のスポットを地元ガイドと一緒に気軽
に街歩きが楽しめます。電動アシスト
自転車・電動カート・ベビーカー・車いす
等のレンタルもあります。

住所：江差町光緒館総合案内所
電話：0139-52-0117
住所：江差町姥神町11-10 電話：0139-52-0117
開館時間：通年（4月～10月 無休） 開館時間：9:00～17:00
休館日：冬季（11月～3月） 毎週月曜日・祝日の翌日
年末年始（12月31日～1月5日）



バリアフリーレジャー用品貸出実績（単位：件、台）

品名	H28	H29	H30	保有台数
電動カート	1	5	1	3
電動アシスト付自転車	28	35	94	5
車椅子	4	15	10	1
歩行車	0	2	0	1
ベビーカー	0	1	0	1
合計	33	58	105	

- 貸出無料
- 貸出・返却施設
江差観光情報総合案内所
- ご利用期間
○ 営業期間 4月1日～10月31日
○ 営業時間 9時00分～16時30分

● 開陽丸記念館内には昇降機も設置
しています！

車椅子でのご来館や階段の昇り降
りが大変なお客様にご用意してお
ります。



江差マリンスポーツ交流センターの整備

[H29地方創生拠点整備交付金事業]

【事業目的】

江差港マリーナ艇庫をマリンスポーツ等のアクティビティの拠点施設としてリノベーションし、マリンアクティビティを商品化することで新たな体験メニューの構築を図る。また、マリーナ施設利用者の宿泊も可能な施設とすることで、海洋スポーツ等の合宿誘致等につなげることで交流人口の拡大を図る。

【実施内容】

◎総事業費：59,152千円

≪事業実績：拠点整備≫

◆実施設計委託 4,590千円

◆工事監理委託 1,566千円

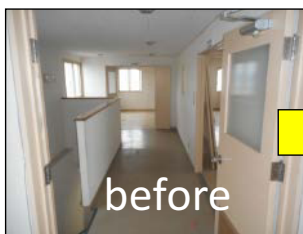
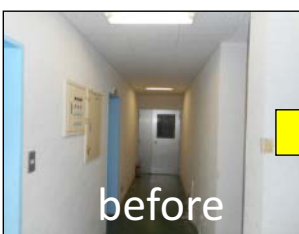
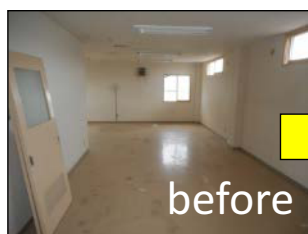
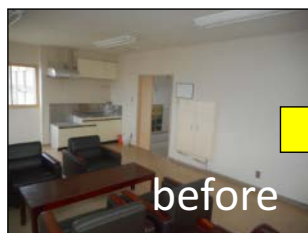
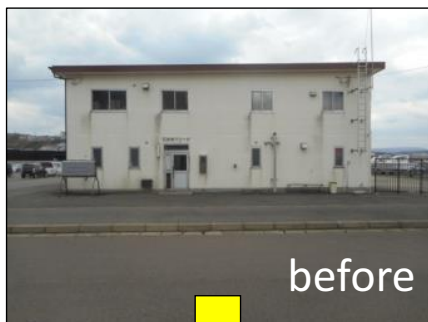
◆工事請負費 48,438千円

◆建築確認申請手数料 28千円

≪事業実績：効果促進≫

マリンフェスタ開催 747千円

備品購入（マリンジェット・救助用ボートほか）
3,783千円



ESASHI-AMUSE-SEA-FESTA

エサシ アミューズシー フェスタ

2019

●事業目的

町のシンボルである「鷗島」周辺の賑わいを創出するため、江差港マリーナを活用した事業展開により施設の有効活用と利用促進を図るとともに、マリンスポーツの拠点化を進め、「北の江の島構想」による交流人口の拡大及び地域活性化を図る。

と き 令和元年7月28日（日曜日）※荒天のため土曜日は中止
ところ 江差湊マリーナ・開陽丸前広場
参加者 延べ250名
主 催 江差町・江差町教育委員会

海のいきものタッチプール



クルージング



カヤック体験



SUP体験

スタンドアップパドルサーフィン



釣堀体験



ジェットドライブ体験



バナナボート体験



えびす浜で砂遊び



開陽丸青少年センター管理棟への入館者カウントセンサーと来館者の状況

区分	来客 センサー数 (※1,2) 人	開陽丸 有料 入館者数 人	ぷらっと レジ通過 客数 人	開陽丸有料 入館者比率	ぷらっとレジ 通過比率
6月	12,493	1,665	1,396	13.3%	11.2%
7月	19,936	2,295	1,988	11.5%	10.0%
8月	25,449	4,380	2,865	17.2%	11.3%
合計	57,878	8,340	6,249	14.4%	10.8%

※1:開陽丸青少年センター管理棟の出入口3ヶ所に6月から赤外線センサーを設置(駐車場側,開陽丸記念館側,芝生側)

※2:開陽丸記念館の見学者は2回出入りするため、来客センサーの計測値は実態より多目に出る傾向がある。

※3:同じく、今年4月から江差追分会館にもセンサーを取り付けて実数把握を行っている。



開陽丸青少年センター管理棟側のセンサー



5月ニシンのぼり掲揚時の、ぷらっとえさしでのニシン唐揚げ無料配布



町内外のお客様に食を通して「江差＝ニシンで日本遺産」をアピールしました。

ニシンまん製品化に向けた檜山振興局における試食会



江差観光まちづくり機構が企画し乙部町のホテルあすなろの調理スタッフに制作を持ちかけた「ニシンまん」。

江差産ニシンの甘露煮をベースに高菜やショウガなどで餡を作り試作し、江差観光まちづくり協議会や檜山振興局で試食会を開催。現在、製品化に向けて最終調整中です。

広域観光への取り組み～サイクルツーリズム～

2018/06/22 道南（函館・道南）

自転車で歴史 文化巡ろう

どうなん・追分シーニックバイウェイルート



試験走行で、福島町吉岡にある江戸時代の測量家、伊能忠敬の銅像を見学する関係者＝15日

10月に観光客向けツアー

関係者 木古内から松前、江差試走

昨年は、同ルートの理事でもある道の駅「北前船松前」の今泉俊也駅長ら、自転車愛好家有志が、1泊2日で道南西部をサイクリングし、観光資源として生かせるか可能性を探った。今年4月には同ルートが、機橋（札幌）から400万円の助成を受け、この先立ち、今年15、17日には関係者が2泊3日で試験走行を行った。今泉駅長のほか、渡島振興局の青山大介・地域創生部長、函館大生らが10人参加。木古内町発着で、松前町、江差町で宿泊。10月のツアーでも組み込む予定の松前町郷土資料館（松前町）、夷王山（上ノ国町）、古い家並みを再現した「いにしえ街道」（江差町）などに立ち寄り、計約190キロを走った。

参加した函館大2年の小玉英輝さん19歳は「普段は道南西部に来ることがないので、景色も良くて、楽しめたことができた」と充実した表情を見せた。試験走行を受け、ツアーで立ち寄る場所などを精査するうえで、今泉駅長はサイクリングに慣れていない人も楽しめるようなツアーにして、道南に観光客を呼び込みたいと話している。

渡島、檜山管内の観光関係者でつくる「どうなん・追分シーニックバイウェイルート」は本年度、自転車で道南西部を巡りながら、歴史や文化を体験する「サイクルツーリズム」に力を入れる。10月には外国人観光客を視野に入れたツアーを実施予定で、15、17日には関係者が、木古内町発着で松前や江差を回るコースを試験走行した。（高野 遼）

©北海道新聞社

広域観光のツールとして昨年度からいろいろな団体が動き出しています。この他、奥尻・せたな両町と北海道観光振興機構の補助金を利用した事業の展開などが行われています。

また、ここ数か月でスイスや台湾の団体が視察に訪れ、海外の送り手側と道南の迎える側が道南広域でのサイクルツーリズムの可能性を意見交換しています。

奥尻町・ハートランドフェリーとの3者連携による誘客宣伝



飛鳥Ⅱ函館寄港時に、奥尻町とハートランドフェリー3者によるPRを実施。今後、奥尻町との連携を強めていきます。

大型ニシンのぼりによるPR



昨年10月に札幌地下歩行空間で実施した石狩、小樽など道内の認定自治体による日本遺産PRイベント。

地下歩行空間では歩く方々の注目を浴びていました。

バーチャルリアリティの利用状況

	平成30年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
人数			16	167	171	99	70	43	28	25	45	32
回数			27	427	314	241	106	65	38	30	60	35
	令和元年（平成31年）											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
人数	17	16	20	46	71	25	52	47				
回数	23	18	46	77	95	42	79	67				

伸び悩んでいることが数字からも見て取れます。教育旅行などへの活用について売り込みをしていきます。



バーチャルリアリティによる江差の露出

制作元の業者は、姫路城や熊本城といった歴史的建造物をはじめ街並みを自治体から受注し、今年9月現在で全国の国宝含む28史跡が同じアプリを利用し見ることができます。

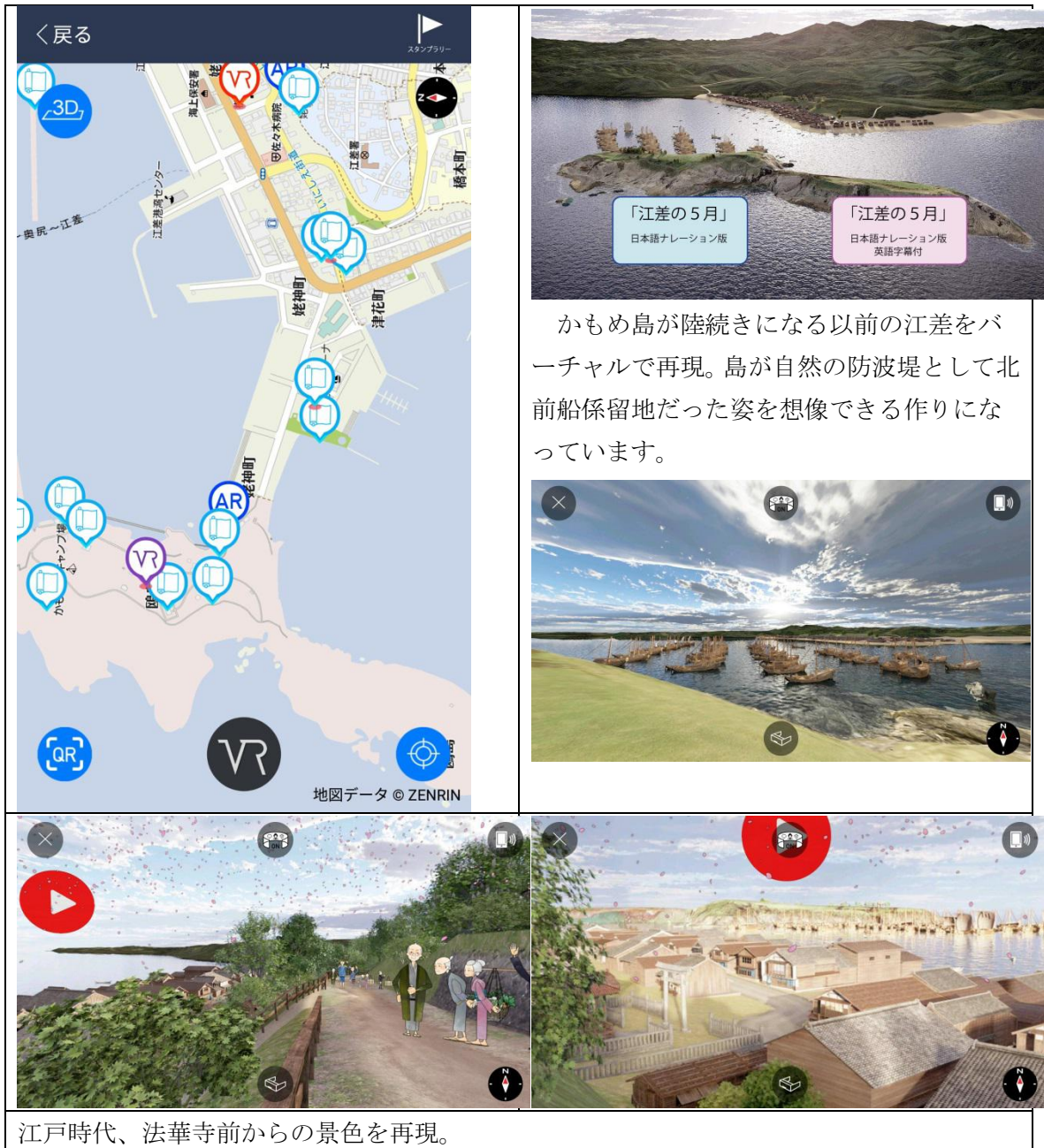
全国の歴史ファンが試したくなるようなラインナップであり、これら高名な地域と並んで関東以北で「江差町」だけがエントリーされており、歴史ファンの目を引きます。

アプリダウンロード数は全国で56,846件。業者へも活用促進の事例を確認しながら利用促進に力点を置いていきます。

バーチャルリアリティで見える内容のイメージ

「日本遺産」に認定された「江差の五月は江戸にもないニシンの繁栄が息づく町」と題したストーリーをはじめとする江差町の魅力について、かつてニシンで繁栄した当時の情景や観光スポット等を、バーチャルリアリティ（VR）などを活用し、町民や観光客が体感することを通して分かりやすく伝えることを目的に制作しました。

VR（バーチャルリアリティ）を視聴できるポイント（VR ポイント）11箇所と、場所の紹介ができるポイント（情報ポイント）20箇所を設定しています。



地方創生推進交付金事業「空き家等リノベーションプロジェクト」(大学と町民の活動拠点の整備)	基本目標②事業№23	回答書 9 P
---	------------	---------

「日本一小さい道の駅プロジェクト」概要

1. 「道の駅江差」について

(1) 歴史

- ・1986(昭和61)年5月 「繁次郎像」設置
- ・1993(平成5)年4月22日 「道の駅江差」が道の駅として登録
(北海道としては第1期)

(2) 施設概要

- ・売店施設 13.7㎡、トイレ 73.7㎡ 合計 87.4㎡
- ・2019年3月のSTVのテレビ番組の企画で、建築面積としては全国最小という結果。
(2番目 和歌山県古座川町の「道の駅 瀧之拝太郎」(103.3㎡)、3番目 大阪府千早赤阪村の「道の駅 ちはやあかさか」(135.6㎡))

2. 「日本一小さい道の駅プロジェクト実行委員会」

◎プロジェクト立ち上げの背景

道の駅めぐりをされている方で、全国制覇を成し遂げた複数の方から、江差町の道の駅は、売店が入る建物としては日本一小さいというお墨付き。

そこで、小さいからと悲観するのではなく、逆手に取って、小さいということを売りにした道の駅をプロデュースしたいというアイデア。

リノベーションにあたっては一人でも多くの人が関係するための仕掛け(関係人口)

◆構成員一町役場追分観光課、地元建築団体、北海道大学・北海道教育大学函館校、東北芸術工科大学

◆恵まれた立地

- 地域のヒーロー「繁次郎の像」を中心にできた道の駅
- 目前に広がる180度に広がる北の日本海の絶景
- 青い海や沈む夕陽
- 冬には寒風が吹きつけ、東映映画のオープニング映像のような荒波が間近に迫る

3. 道の駅の再生とエリアリノベーション構想策定のための企画コンペ

(1) 大学生21名を4グループに分けてのコンペ

平成30年3月6日(火)～3月9日(金) 4日間

目指すイメージ

「道の駅江差」の最高のロケーションを最大限活かすため、建物を通り抜けができるように改造し、小さい道の駅をくぐり抜けると、雄大な日本海が眼下に広がるようにしたいと考えています。また、限られたスペースを有効に活かすような作り・内装にし、小さいながらも快適な空間。

(2) コンペを基にした基本方針の決定と実施設計

- ・WEB会議6回開催、実施設計は大学生

(3) 五感で感じる“満足度NO. 1”の道の駅に！

「視覚」では、広大な日本海と、その中に浮かぶ「かもめ島」の絶景

「聴覚」では、かもめの鳴き声、打ち寄せる波の音や吹きつける風の音

「嗅覚」では、日本海の磯の香

「触覚」では、砂浜や海水の心地良さや「たば風」と呼ばれる江差特有の強い風

「味覚」では、古くから伝わる地元ならではの食

4. クラウドファンディングでの資金調達

○“all or nothing”型での挑戦→町長の意向 ○目標額 200 万円



5. ソフト面で来館者を楽しませる工夫

○小さいものばかりを集めた“ミュージアム”

○町内のお店などにも協力していただき、商品のミニ版を作ってもら

6. 最も大きな成果

○多くの方が携わってできた（現在も進行している）プロジェクト

〔コンペと審査40名、クラウドファンディング265名、商品作り〕

○住民の商品作り参加

7. 今後期待する成果

○町内におけるリノベーション機運 ○新たな販売商品の開発

8. 支出内訳

	庁 費	C F 等寄付金	合 計	備 考
建物改築費	1,895,400			庁費は建物本体の改築、C F 寄付金はその他 使途と分けながら着手。 CF 寄付金 2,622 千円 と「CF 等寄付金」の差 は、CF 終了後の寄付金。
電気・電話工事		1,023,814		
ウッドデッキ設置工事		393,120		
C F 会社手数料		524,400		
寄附返礼品		552,070		
その他経費		246,652		
合計	1,895,400	2,740,056	4,635,456	

道の駅江差のリノベーション概要

旧道の駅	リノベーション後
	
	
来館者のスペースは3畳ほど	玄関からは正面に海を見ることができる
	
販売物も小さいものにこだわった販売物	小さい物を集めたディスプレイ
	
桐の下駄本物とミニチュア 下駄本体も鼻緒も本物を作る職人の手作り	町のエントランスとして、今は町内で味わえる「秋のスイーツ」特集で街中へ誘う

道の駅プロジェクトから広げる「観光関係人口」

(第3種郵便物認可)

【江差】町は22日から、道の駅江差（尾山町1）で、桧山地域の郷土菓子・こうれんをアレンジした「ミニこうれん」を販売する。日本一小さい道の駅として4月にリニューアルオープンした同駅のイメージに合わせて開発した新商品で、町内の共同作業所が製造を担当。将来的には地元を代表する特産品を目指す。（小川俊之）

「ミニこうれん」味わって

江差道の駅 あすから発売

桧山の郷土菓子をアレンジ

こうれんは、ふかしもちを混ぜて円形に薄く延ばし、数日乾燥させて作る保存食品。食べる時は焼くか揚げるかすることで、サクサクした食感を楽しめる。江差町を中心に周辺町村でもその製法が伝統的に受け

ち米に砂糖や塩、ゴマなどを混ぜて円形に薄く延ばし、数日乾燥させて作る保存食品。食べる時は焼くか揚げるかすることで、サクサクした食感を楽しめる。江差町を中心に周辺町村でもその製法が伝統的に受け

「最初は同じ形にそろえるのが難しかったが、練習を重ねて上手にできるようになった。たくさんのお客さんに自分たちの作ったミニこうれんを買ってもらえたうれしい」と話す。同所の荒木京子所長は「地元の特産品の製造に関わらせてもらい、利用者も意欲的に作業に取り組んでいる」とする。

ミニこうれんは1パック5枚入りで380円（税込）で販売する。初日は限定20個を発売する。問い合わせは江差観光みらい機構（0139・56・1144）へ。

製造するのは、NPO法人南桧山あゆみ共同作業所（新栄町264）の利用者5人。材料には江差産のもち米「風の子ども」を使用し、1枚ずつ型枠を使って丁寧に伸ばしながら形を整えていく。作業を担当する小林直美さん（41）は

道の駅で販売されるミニこうれん

1枚ずつ丁寧にミニこうれんを作る共同作業所の利用者

江差が目指す観光の一つには、江差のファンを一人でも多くしながら何度も訪ねてもらえるもの。関係人口を増やしながら来る人も迎える人も経済が回り精神を豊かにするものがあげられます。

南桧山あゆみ共同作業所の通所者は、ミニこうれんの製造販売を通して江差観光の一部を担っているという自負を持ち、目を輝かせています。

作業所側の卸価格は258円で販売@350円。3か月ほどで280袋（5枚入り）程度の販売ですからまだまだ経営などとはいきませんが、観光を通し社会とつながる道を増やし、新しいことにもチャレンジを始めています。



日本遺産を観光客の皆さんの実感できるような事業展開



上の写真は街中に設置している看板。
昨年度に多言語化で更新した看板6枚には日本遺産マークを入れてあります。



写真は函館空港の手荷物受取ターンテーブルに5か月間置いたオブジェで、今は江差追分会館で観光客を迎えています。

訪日外国人宿泊客述数【推移】

年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
中国	0	2	12	11	16	21
韓国	0	9	1	8	12	6
台湾	0	0	8	26	31	21
香港	6	0	2	6	55	25
シンガポール	0	0	2	1	7	13
マレーシア	8	0	1	0	0	0
タイ	0	0	0	0	0	0
ベトナム	2	0	0	0	0	6
イギリス	0	0	4	0	0	2
フランス	0	1	0	0	0	2
ドイツ	4	0	0	2	4	2
アメリカ	1	0	1	25	10	12
カナダ	21	0	0	2	2	0
オーストラリア	0	0	1	0	0	5
その他	0	28	12	6	4	6
計	42	40	44	87	141	121

観光施設の多言語化

旧檜山爾志郡役所	江差追分会館・山車会館
	
	

江差町北部基盤整備事業	なし	なし
農地流動化促進補助創設	基本目標①事業No.7	回答書 3P
農業機械購入費用助成	基本目標①事業No.13	回答書 5P

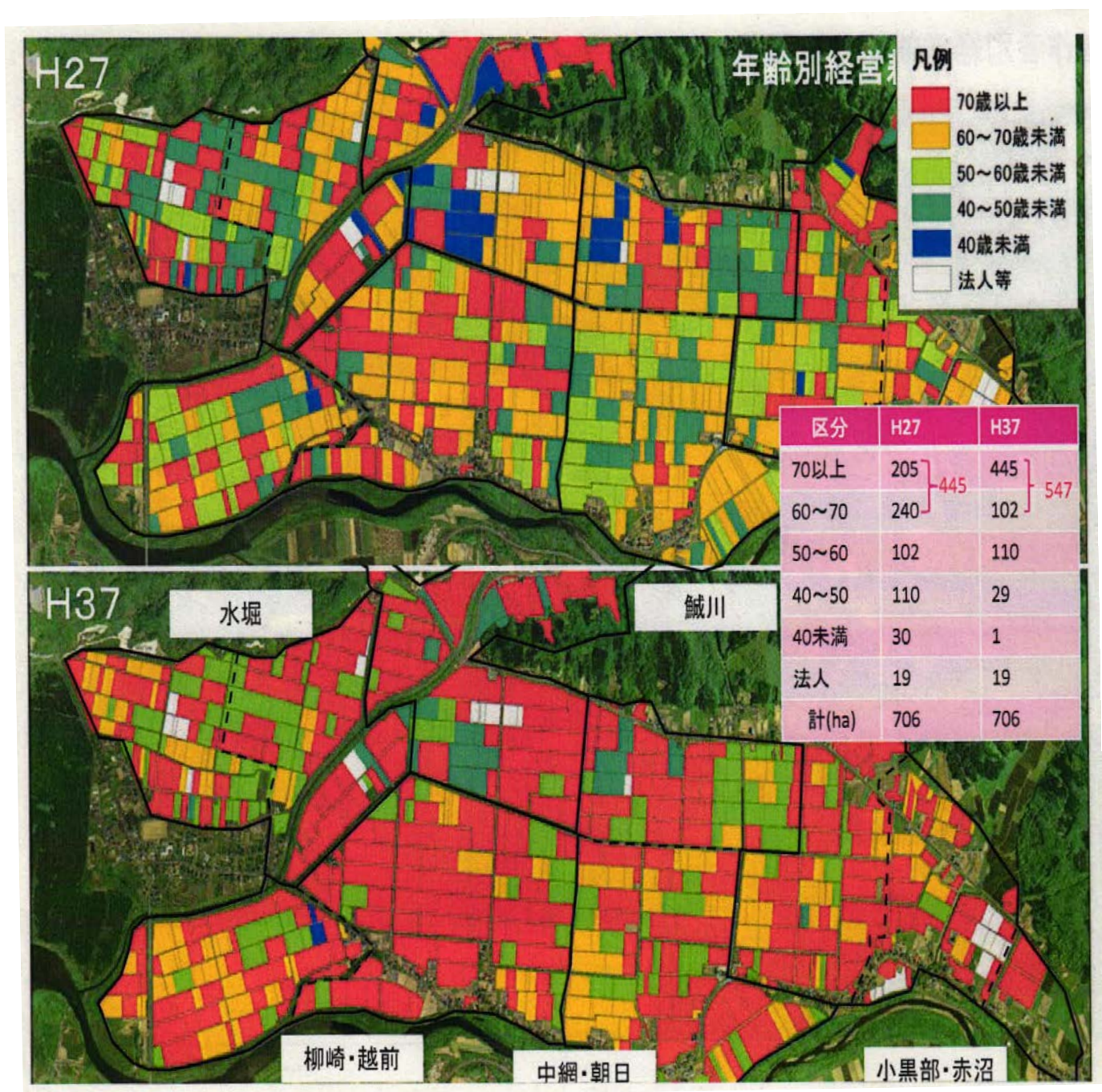
江差町の農業の課題と今後の方策について

○課題

下記図-①のとおり、平成 27 年時点では 70 歳以上の農業者が耕作する農地は 205ha ですが、令和 7 年には 70 歳以上の農業者が耕作する面積は倍以上の 445ha となる予想であり、農業者の高齢化と担い手の確保が課題となっています。

また、担い手農業者の不足から、1 経営体当たりの耕作面積が増加していることや、耕作地が分散しているため農作業が効率的ではない状況となっており、農地の集積・集約化が課題となっています。

(図-①)

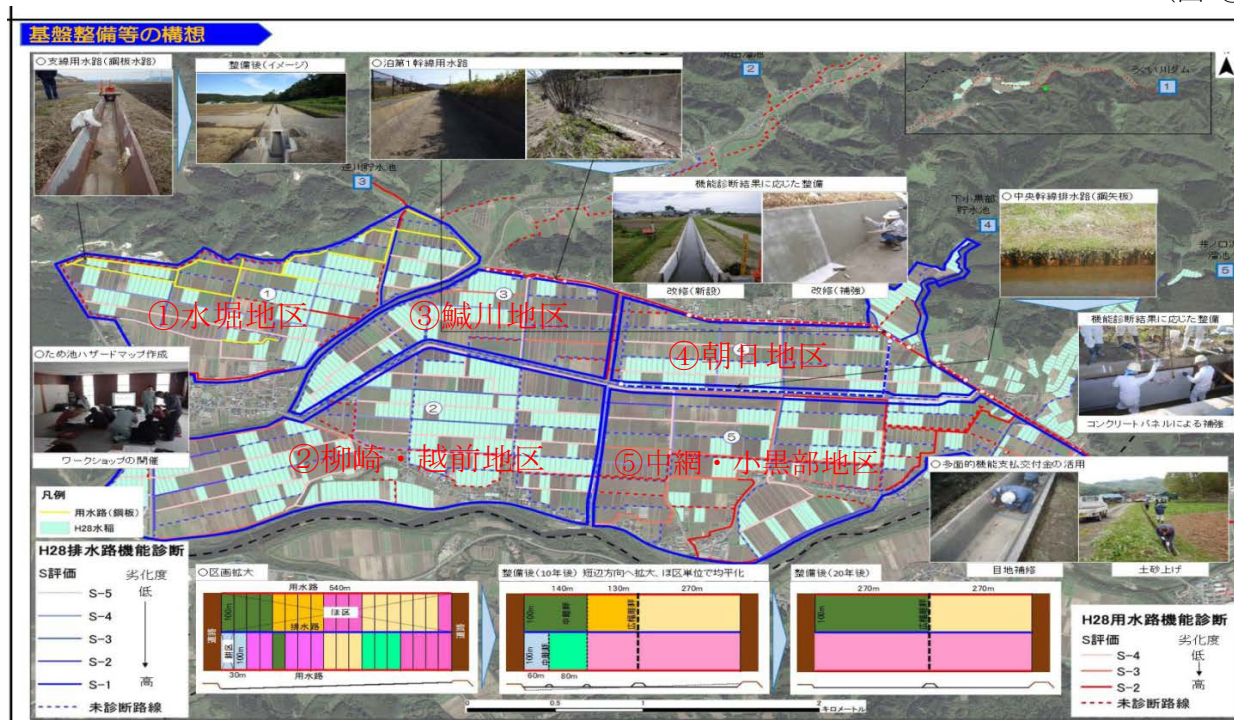


○今後の方策について

1. 江差町北部基盤整備事業

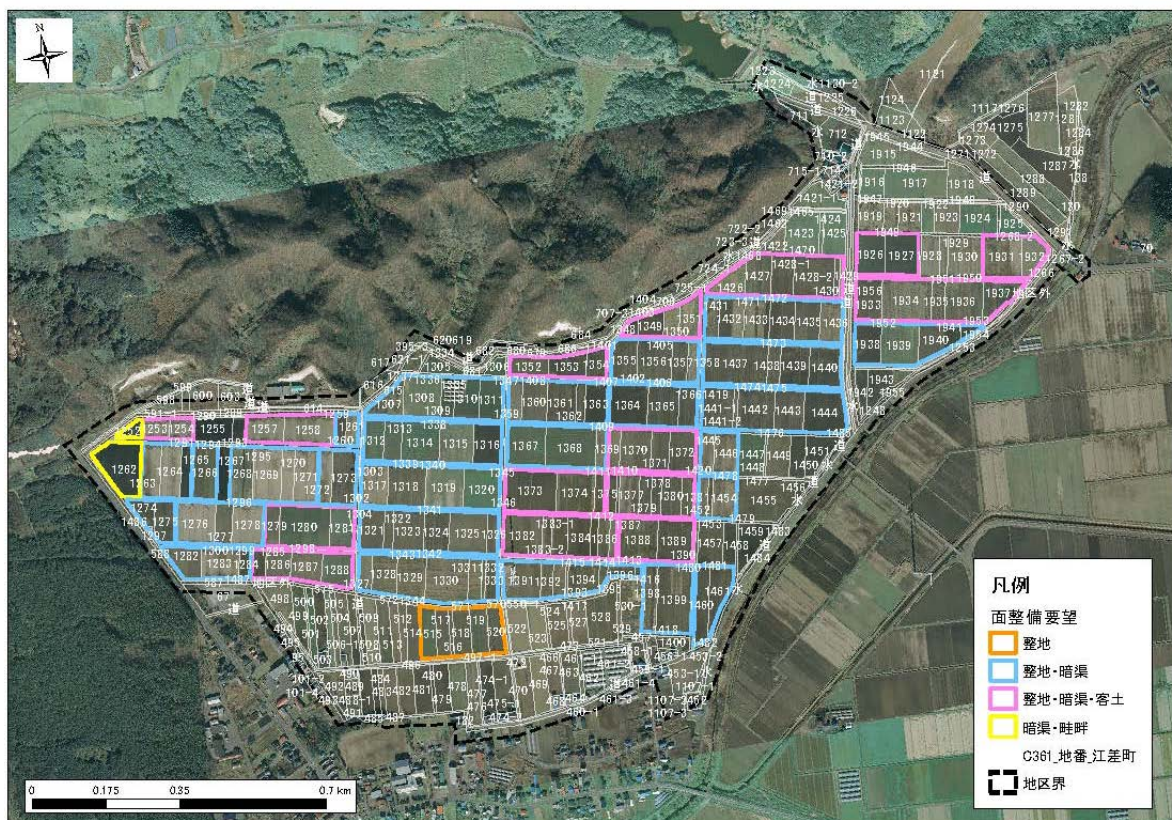
前述の課題解決に向けた方策の一つ及び約 40 年経過した既存施設の老朽化対策として、下記図 - ②で示しているとおり、江差町北部地区を 5 地区に分け基盤整備事業を計画しています。

(図-②)



令和 3 年度より水堀地区（上記図 - ②中の①の地区）について、調査・設計を行い、圃場の区画を現在の約 0.3ha の区画から、1ha～3ha 規模への大区画（下記図-③参照）を計画しています。

(図-③)



総事業期間：令和 3 年度～令和 23 年度（予定）

総事業費：9,230,000 千円（概算）

水堀地区事業期間：令和 3 年度～令和 11 年度（予定）

水堀地区事業費：1,980,000 千円（概算）

2. 農地流動化補助金

	29 年度	30 年度	R 元年度
助成件数	11 件	17 件	16 件（見込み）
売主	7 件	10 件	11 件
買主	4 件	7 件	5 件
助成金額	748 千円	2,629 千円	2,045 千円（見込み）

農地流動化促進補助金については、平成 29 年より令和 4 年までの 6 年間の間に、町内在住の担い手農業者に対し農地（田）を売った者及び町内在住の農業者で農地（田）を買った者に対して、補助金を交付する事業です。

補助金交付により、農地の流動化を促進し、農地の耕作放棄地化の防止及び担い手農業者へ農地を集積・集約化することにより、農業経営の規模拡大、コスト縮減を図り、持続的で安定した農業経営を促進するため実施しております。

3. スマート農業の推進

基盤整備事業等で集約される農地を効率よく作業するためのスマート農業（無人トラクターやドローンによる防除などの遠隔操作や、ハウス栽培の遠隔監視など）に対する機械導入の補助を検討する必要があります。

4. その他これまで取り組んできた事業について

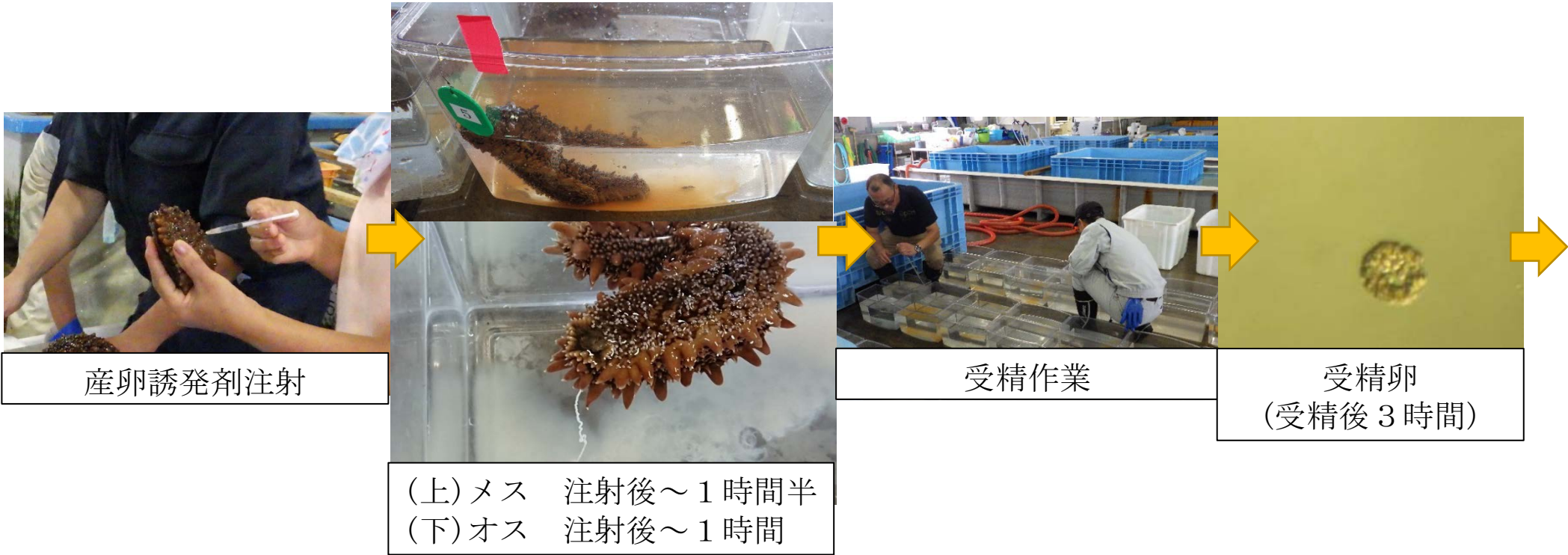
・農業機械購入費用助成

（金額単位：千円）

	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	R 元年度	計
助成件数	9 件	16 件	16 件	6 件	1 件	48 件
助成金額	4,014	7,132	6,346	2,250	500	20,242
導入費用	11,089	21,008	23,173	6,261	3,000	64,531



農業機械購入費用助成については、平成 27 年度から令和元年度までの 5 ヶ年の間で 1 農業者につき 1 回（購入金額の 1/2 かつ 50 万円が上限）の助成を行ってきたもので、要望調査を行った上で希望者が一巡したところであります。





檜山産マナマコのエビ子煮
(檜山海参フェスタ2019試食交流会)



平成30年度において
「北海道新技術・新製品開発賞」を受賞

令和元年5月23日 北海道立工業技術センター研究成果発表会 展示
フリーズドライ赤ナマコ、ナマコチップス、檜山海参石けん

江差町の商店の現状

江差町市街地にある既存商店街は、町の人口減少に加え経営者の高齢化や後継者不足などの問題により商店数が大きく減少している状況にある。他業種の店舗が混在した商店街から生鮮食品や雑貨を扱う店舗などが姿を消し、商店街としての機能を失いつつあり、大型スーパーなどと比較し購買力が低下し顧客数が激減する結果となっている。

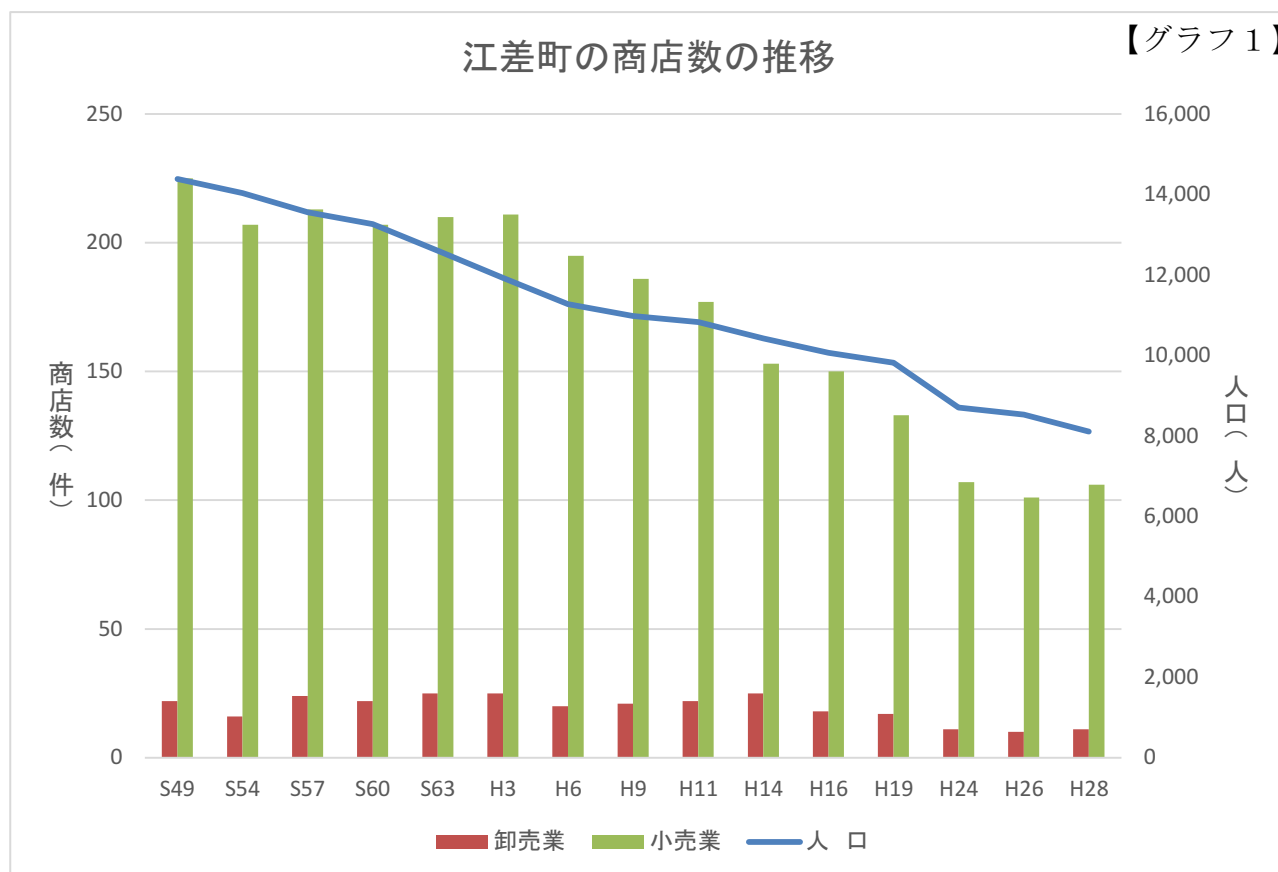
このままでは、地域に密着し、近隣住民の買い物先として、特に近隣のお年寄りや交通弱者などが利用している既存商店街が存続の危機にある。【表1】【グラフ1】

【表1】

商店数

	S49	S54	S57	S60	S63	H3	H6	H9	H11	H14	H16	H19	H24	H26	H28
人 口	14,387	14,033	13,559	13,263	12,602	11,927	11,273	10,980	10,832	10,422	10,064	9,819	8,704	8,525	8,109
商店数	247	223	237	229	235	236	215	207	199	178	168	150	118	111	117

【グラフ1】



現在、江差町市街地には大きく2つの商店街で形成されており、近年になり、大手ドラッグストアやコンビニエンスストアが市街地へ進出してきたことから、商店街で買い物をする顧客が減少する傾向にある。【図1】

市街地商店街と大手店舗配置図

【図1】



今後、商店街の維持については、江差商工会や関係機関とも連携し、商店街が主体となった行事への支援による賑わいの創出や商店等の店舗や設備の更新に対する支援、キャッシュレス化への取組みに対する支援などを検討していきたい。

また、すでに実施している対策としては、がんばる商店街応援補助として、【表2】のとおり各商店街の事業に補助を実施している。

江差町市街地にある既存商店街は、町の人口減少に加え経営者の高齢化や後継者不足などの問題により商店数が大きく減少している状況にある。他業種の店舗混在した商店街から生鮮食品や雑貨を扱う店舗などが姿を消し、商店街としての機能を失いつつあり、大型スーパーなどと比較し購買力が低下し顧客数が激減する結果となっている。

このままでは、地域に密着し、近隣住民の買い物先となり、特に近隣のお年寄りや交通弱者などが利用してきた既存商店街が存続の危機にある。

○がんばる商店街応援補助金実績

【表2】

平成28年度	平成29年度	平成30年度
●法華寺通り商店街(282 千円) ・夜市, まんぷく茶屋, 花壇, イルミネーション ●幼稚園通り賑わいの会(226 千円) ・幼稚園通り飲食店大感謝祭 ●山の上商盛会(166 千円) ・追分大会, なべ祭りでの商店街 PR 事業 ●歴まち商店街組合(334 千円) ・江差北前のひな語り ●江差中央商店街(242 千円) ・イルミネーション事業, 花壇 ●愛宕町商店街(250 千円) ・姥神大神宮渡御祭応援スタンプラリー	●法華寺通り商店街(284 千円) ・夜市, まんぷく茶屋, 花壇, イルミネーション ●幼稚園通り賑わいの会(280 千円) ・幼稚園通り飲食店大感謝祭 ●山の上商盛会(173 千円) ・追分大会, なべ祭りでの商店街 PR 事業 ●歴まち商店街組合(380 千円) ・江差北前のひな語り ●江差中央商店街(303 千円) ・イルミネーション事業, 花壇 ●江差商工会(880 千円) ・商店街スタンプラリー	●法華寺通り商店街(248 千円) ・夜市, まんぷく茶屋, 花壇, イルミネーション ●幼稚園通り賑わいの会(61 千円) ・幼稚園通り飲食店大感謝祭 ●山の上商盛会(143 千円) ・追分大会, なべ祭りでの商店街 PR 事業 ●歴まち商店街組合(308 千円) ・江差北前のひな語り ●江差中央商店街(265 千円) ・イルミネーション事業, 花壇 ●江差商工会(475 千円) ・商店街スタンプラリー